

第60回全国小学校家庭科教育研究会全国大会 神奈川大会の参加報告

令和5年10月27日(金)

1 公開授業(会場:横浜市立桜岡小学校)

6年1組家庭科「家族のために長く使える袋を作ろう」

目的:生活を豊かにするマイバッグを作り、感謝の気持ちを伝えよう

【本時の目標】(2/7時間目)

家族のための袋の製作について課題を設定し、課題解決と実践に向けて計画することができる。(※7月に共通の課題としてタブレット端末を入れる袋を製作済み)

【本時の展開】

- めあて「家族のために作る袋の製作計画を立てよう」
- 参観して興味をもった学習過程の工夫
 - ・ 製作する袋に入れる予定の物を児童が持参している。
 - ・ 教室の後方に、布や持ち手となる紐等の見本を展示している。
 - ・ 児童はタブレット端末に手順を記し、モデル画像に袋や布のサイズを記入する。
 - ・ 児童は不織布を使って、裁断したりホッチキスで塗ったりして袋の見本を作成する。
(マジックペンで線を引く、クリップを待ち針代わりに使用する)
- ※ 実際に作成し、物を入れてみることで、袋のまちやゆとりの必要性に気付く



2 全体指導(会場:関東学院大学 テンネー記念ホール)

文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官

国立教育政策研究所教育課程研究センター 教育課程調査官 熊谷 有紀子 氏

【指導事項の要旨】

学習指導要領の「よりよい実施」のために

子どもたちの資質・能力の育成を目指して授業を実施する

具体的には

- 家庭科の目標、内容を常に確認する
 - ※ 学習指導要領を読むときのキーワード
 - ・ ~ねらいとしている
 - ・ 指導に当たっては~
 - ・ ~できるようにする
 - ・ 例えば~
 - ・ 題材構成にあたっては~
- 「問題を見いだして、課題を設定する」学習過程を充実させる(教師の手立てが「カギ」)
 - ・ 子どもが生活の中から問題を見出すための手立て
子どもの実態を把握する→子どもの意識の流れに沿った題材構成にする
 - ・ 見出した問題を課題の設定につなげるための手立て
- 小・中・高等学校の内容の「つながり」を意識する
(学習指導要領の内容をしっかりと学習させる)